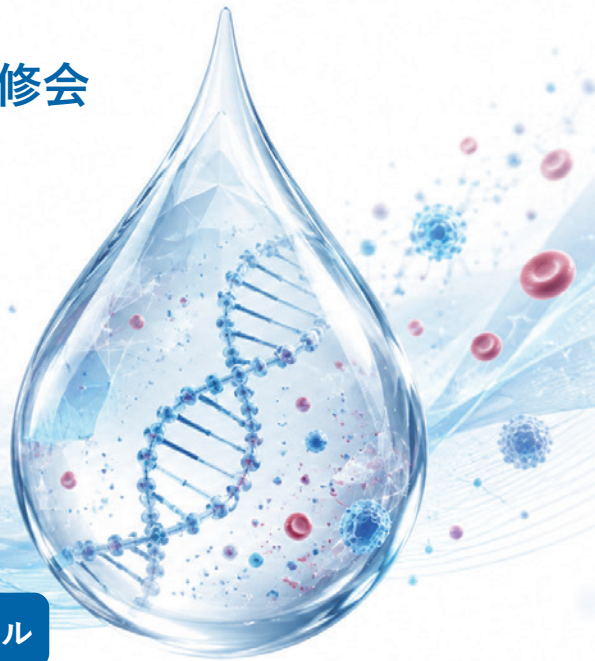


Pathologist Liquid Biopsy Academy 2026

病理診断から、がんゲノム医療のその先へ

リキッドバイオプシーの基礎・臨床応用・症例
解釈を体系的に学ぶ2日間



2026年11月20日(金)・21日(土) | 軽井沢プリンスホテル

プログラムディレクターからのメッセージ

近年、がんゲノム医療の発展に伴い、血液を用いたリキッドバイオプシー検査の重要性がますます高まっています。一方、病理医には、遺伝子プロファイルと組織像から分子病理診断を行い、患者の病態を総合的に判断する診断技量が求められ、組織検査だけでなくリキッドバイオプシーも活用することが重要です。

本研修会は、病理医が普段接する機会の少ないリキッドバイオプシーの特性や限界を理解し、基礎から臨床応用までを体系的に学ぶとともに、実際の症例を用いた検討や参加者同士の議論を通じて、日常診療で活用できる知識を深めることを目的に企画しました。本研修会が、Molecular Pathologistとしての専門性をさらに高め、検査選択、結果解釈、院内連携を通じて、がんゲノム医療により一層貢献するための契機となることを期待しています。



西原 広史 先生

慶應義塾大学医学部
がんゲノム医療センター
教授・センター長

参加費無料

※研修会参加費無料
※交通費・宿泊費自己負担

定員 30 名

対象：がんゲノム医療中核拠点病院、
拠点病院、連携病院勤務の病理医
(腫瘍内科・検査技師も参加可能)

1泊2日

講義・症例検討・討論

※交通費・宿泊費は各自負担となります。詳細は裏面をご確認ください
お申込先着順となります。定員となりましたら締め切らせていただきます。

開催のご案内

本研修会は、がんゲノム医療に携わる病理医を対象に、リキッドバイオプシーの基礎から臨床応用までを2日間で体系的に学ぶ少人数制プログラムです。解析技術や臨床エビデンス、CGP・MRD・スクリーニング、リキッドCGP検査の臨床的位置づけに関する講義に加え、実症例と検査レポートを用いたケーススタディやディスカッションを実施します。検査結果を治療選択や院内連携にどのように生かすかをともに考え、Molecular Pathologistとしての実践力をさらに高めることを目指します。

CGP：包括的がんゲノムプロファイリング、MRD：分子的残存病変

プログラム・開催概要

基礎講義、臨床応用、CGP 検査、症例検討、総合討論を2日間で実践的に扱います。

2日間のプログラム

(11月20日 13:00 集合、11月21日 12:00 解散)

DAY 1 | 11月20日(金) 基礎から臨床応用へ

13:30-14:30 Session 1 |

リキッドバイオプシーの基礎(解析技術)

講師 | 高阪 真路 先生(国立がん研究センター 細胞情報学分野ユニット)
ctDNAの基礎/NGS解析とシーケンス深度/メチル化解析/
組織検査との比較/現在のエビデンス

14:30-15:30 Session 2 |

リキッドバイオプシーが広げる医療の未来

講師 | 橋本 直佳 先生(国立がん研究センター東病院 消化管内科)
CGP/ MRD/ Screening/ Tumor Typing
臨床活用の現状/限界と課題

16:00-17:00 Session 3 |

CGP検査の臨床的位置づけ

講師 | 谷口 浩也 先生(愛知県がんセンター 薬物療法部)
CGP検査の概要/実臨床での活用/HER2増幅
ゲノム異常の解釈/病理医との接点

Evening Discussion |

病理医はゲノム医療にどう関与できるか

情報交換会

DAY 2 | 11月21日(土) 症例から実践を学ぶ

8:10-9:40 Session 4 |

ケーススタディ

リード | 西原 広史 先生(慶應義塾大学医学部 がんゲノム医療センター)
実症例の検討/組織検査結果/リキッドバイオプシー結果
Guardant360レポートの解釈/治療選択への影響/解釈上の注意点

10:00-11:10 Session 5 |

病理医の新たな役割

講師1 | 長峯 理子 先生(国立がんセンター東病院 病理臨床検査科)

講師2 | Steve Olsen* (Guardant Health Japan)

Molecular Pathologyの最新動向/海外におけるClinical Pathologistの役割/
院内連携への関与/今後の展望

11:10-11:50 Session 6 |

総合討論

「病理医はリキッドバイオプシーにどう関わるべきか」

* Steve Olsenの説明は英語になります

開催概要

日程 2026年11月20日(金)
～21日(土)(1泊2日)

会場 軽井沢プリンスホテル

対象 がんゲノム医療中核拠点
病院、拠点病院、連携病
院勤務の病理医(腫瘍内
科、検査技師も参加可能)

定員 30名

形式 講義
ケーススタディ
少人数ディスカッション

費用

研修会参加費：無料

交通費：各自負担
宿泊費：各自負担
(部屋タイプ選択制)

ツインルーム 1名利用
(朝食付き)

33,900円(税込) / 名

ツインルーム 2名利用
(朝食付き)

19,100円(税込) / 名

※ 申込時に部屋タイプを選択ください。
※ 2名利用の料金は1名あたりです。
※ 2名利用の場合、部屋割りは事務局に一任
いただけますと幸いです。
※ 宿泊費の領収書を発行します。

申し込み

QRコードより
お申し込みください



Pathologist Liquid Biopsy Academy 運営事務局

ガーダントヘルスジャパン株式会社内 担当：正木
〒105-7590 東京都港区海岸 1-7-1 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 10F
電話：03-4545-1341 メール：PathologistLBxAcademy@guardanthealth.com

JMKT-000611 R1

